

### 【応募者のコメント】

平成3年に完成した城西大橋には、故村上善男氏により伝統工芸の津軽塗の道具をモチーフにした機能的なデザイン。

津軽塗の文様付けに用いる仕掛べらをブロンズで造形的にアレンジし、親柱や高欄におろし金のような仕掛べらを鋳物仕上げで配置。照明灯も練りべらをデザインしており、ここからの岩木山の眺望は絶妙である。

青森県の特産の津軽塗と別名津軽富士の岩木山の組合せは弘前のこの地点以外にない。ここに弘前の魅力が詰まっている。

48

城西大橋から眺めた岩木山



**【応募者のコメント】**

岩木山の景観のために街路灯を撤去・・・

すばらしいです。

49

## 晩春の早朝の岩木山



【城西大橋からの眺め】

### 【応募者のコメント】

弘前を代表する景観の岩木山ですが、  
この時はゾクッとするほど、妖艶な姿を見せてくれました。

## 50 新町坂より眺めた津軽富士



### 【応募者のコメント】

新町坂下に昭和37年県内初の50mプール完成し、  
それ以後、子供達は「ドサ」、「あらずサ」  
城西大橋完成後はプールも廃止。でも岩木山絶景の場。



※有料区域

### 【応募者のコメント】

私は縁あって、藤田記念庭園の宣伝に努めている一人です。  
ここからの岩木山は、借景庭園である当庭園の代表的スポット  
であると考えております。

写真は皆さん提出していると思いますので、私は塗り絵を提出し  
ます。

鉛筆書きをスキャンし、色鉛筆で彩色。

52

弘前市役所正面入り口付近「りんごポスト」から  
眺めた新雪の岩木山遠望

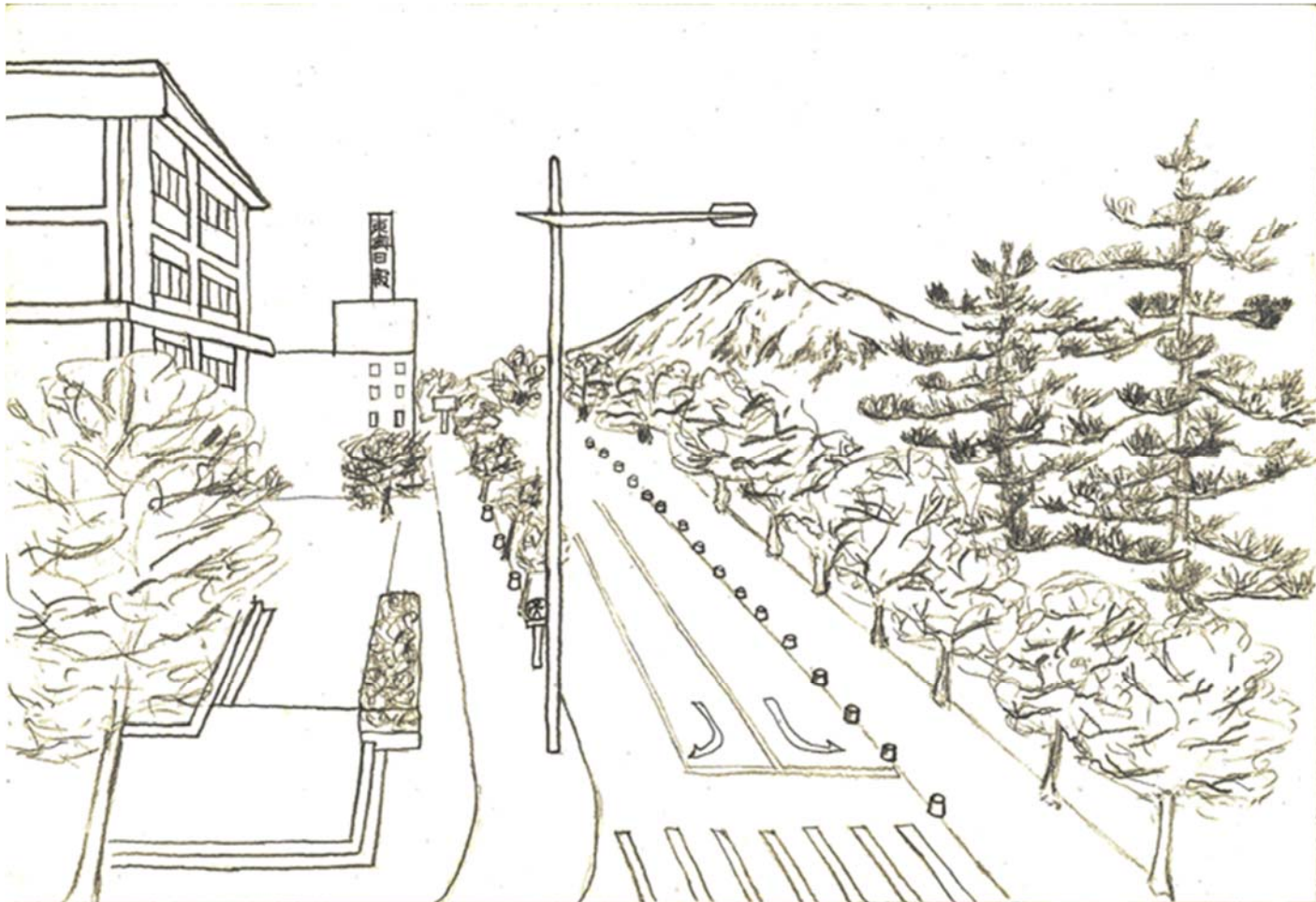


### 【応募者のコメント】

「りんご色のまち弘前」をりんごの季節でない時(りんごのシーズンオフ!)に実感できる「ひろさきビューポイント」ベストワンはここ!?

弘前市役所正面入口の、すぐ右側に立つりんごポスト。このりんごポスト越しに新雪の岩木山を、市の中心部で眺められる唯一のポイント!

但し、太陽が昇ると、りんごポストが市役所建物の陰になって陽が当たらなくなるので、赤く輝くりんごポストを眺めるのは、早朝9時前頃までに...



### 【応募者のコメント】

弘前市には、日本を代表する故前川國男設計の建造物が数多くある。その中で弘前市役所庁舎は3作品目。

日本著名の前川國男設計による弘前市役所庁舎と日本一の桜の名所・弘前公園、岩木山の組合せは、ここ以外になく市民のみならずみんなに誇れる場所である。と共に、この景色を見せるだけで「弘前」と答えられる場所である。

54

~

64

## 弘前城公園の風景

54

追手門



55

杉の大橋(植物園南案内所側から)





56 杉の大橋から桜並木の眺め(植物園南案内所方向)



57 南内門



58 天守(下乗橋より)



59 本丸から岩木山の眺め



※有料区域

60 館神跡から天守方向



61 館神跡から鷹丘橋方向



62 日本最古のソメイヨシノからの天守 その1



63 日本最古のソメイヨシノからの天守 その2



64 丑寅櫓



**【応募者のコメント】**

太宰治「津軽」から

「弘前城は津軽の魂」

弘前が一番のアピールポイント

**65** 弘前公園二の丸内堀の桜



**【応募者のコメント】**

満天の天の川のごとく

静かに流れる桜の花びら

星空に勝るとも劣らず・・・

66

弘前公園の桜  
～工業高校口と桜のトンネル口の間より～



**【応募者のコメント】**

満開の桜。

花いかだをゆうゆうと楽しむオシドリがうらやましい・・・

67

弘前公園本丸から眺めた岩木山



※有料区域

**【応募者のコメント】**

本丸から望む岩木山

日によっては、雲がくれをしてしまう岩木山

今日は、どんな表情で迎えてくれるのでしょうかね？



**【応募者のコメント】**

のどかな春の日の朝。蓮池の水面に飛び込んで、気持ちよさそうに水浴びをするカモ鳥の家族(多分、メス、オスつがいの親鳥と4羽の子ガモ)。親鳥に見守られながら、水遊びをする子ガモたちは羽をバタバタさせながらいかにも楽しそう……。

水面に浮かぶ白い蓮の葉。さくらまつりの賑わいが終わって、葉桜となった木々の鮮やかな緑が水面に映って、一服の清涼剂的! 風景でもある。



【春陽橋】

## 【応募者のコメント】

桜を愛でる雑踏の中に、

ひっそり隠れるように佇む舟が印象的でした。



【土橋(物産館南側)からの眺め】

**【応募者のコメント】**

紅葉スポットは、各地にいっぱいありますが、土塁の木々の赤や黄の紅葉、松の緑、空の青さのコンビネーション、加うるに中濠の水面に映るそれらのグラデーション。

紅葉の絶景ポイントとっております。

71

津軽藩ねふた村見学コース「ヤーヤ堂」から臨む  
日本庭園「揚亀園」と弘前公園北門方面



※有料区域

### 【応募者のコメント】

手前に津軽特有の作庭方法「大石武学流」を用いた日本庭園「揚亀園」、奥には弘前公園の老松と色付き始めた桜の木。

更に奥には紅葉の「岩木山」と空と雲がこの時期だけの彩りを演出している。

72

73

## 弘前八幡宮通りの風景

72



73

**【応募者のコメント】**

毎年7月31日八幡町、八幡さまの宵宮が開かれる。

広く長い道路には、数多くの露店が並び楽しめる通り。

## 74 城北公園交通広場の風景



### 【応募者のコメント】

子供等が交通ルールを学び、ミニ機関車に乗れ  
楽しく遊べる公園。

75

和徳町(上和徳町からの岩木山)からの眺め



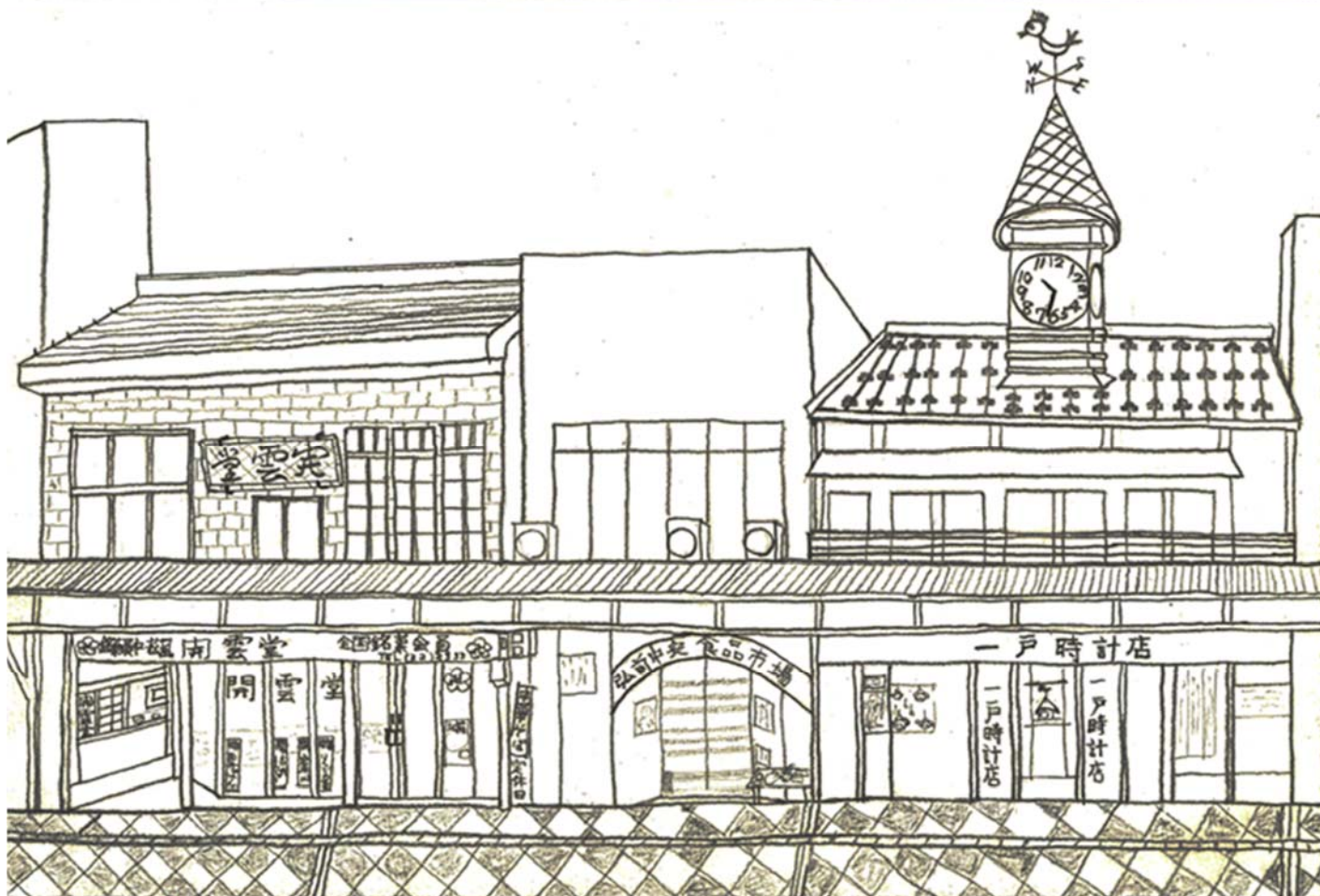
**【応募者のコメント】**

上和徳町は問屋町通りと云われた由緒ある街並み。

近郷近在より小売人が訪れ津軽富士を眺めた。

76

なかどて月極駐車場(旧奥太履物店)から東、  
一戸時計店の方向を臨む



### 【応募者のコメント】

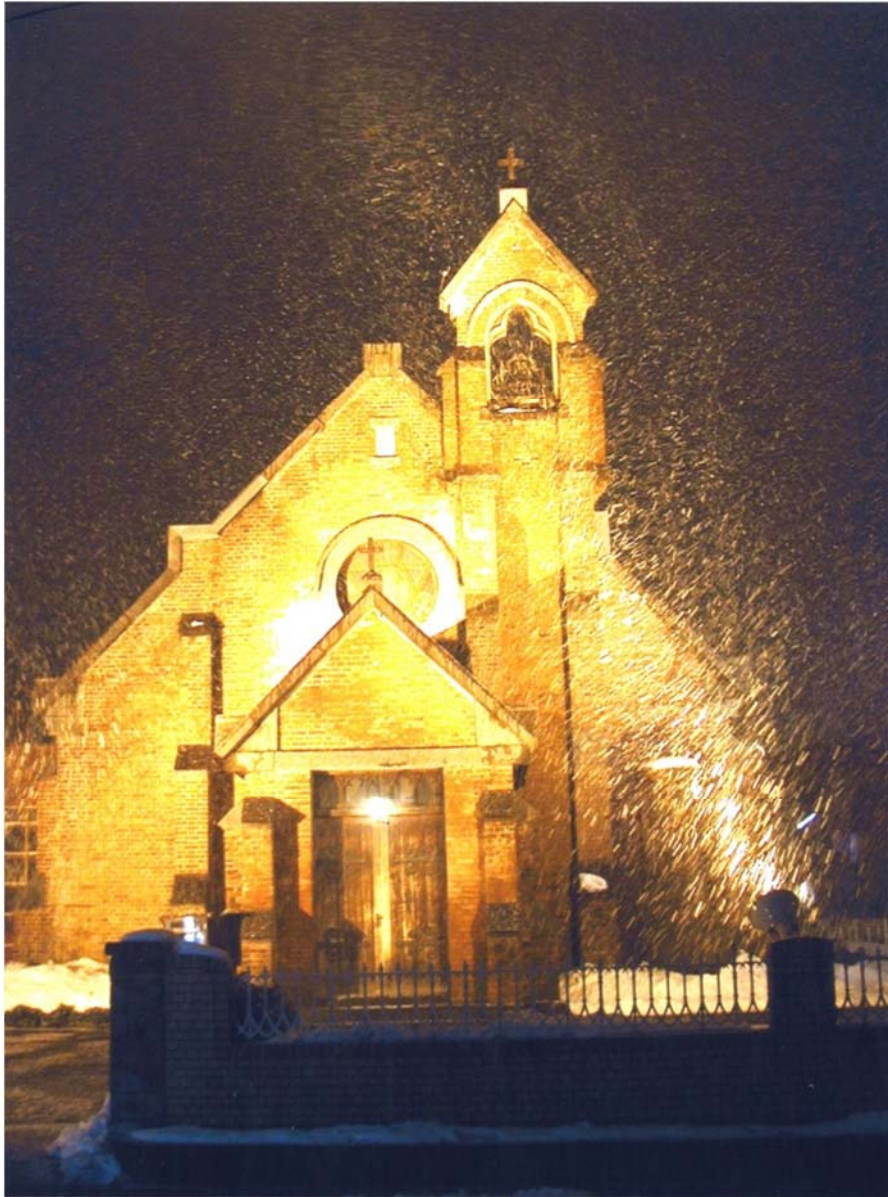
弘前有数の明治創業の老舗店。一戸時計店開業当時の円錐屋根の時計台は現在でも土手町のシンボルとして親しまれており明治32年建築。一方開雲堂は創業130年を超える明治12年で、銅版の外壁が看板建築の特徴を残し津軽藩の旗印で市章となっている卍を形取った最中が有名。昭和3年建築。

このように、昔から親しまれている時計台の一戸時計店と銅板の外壁・卍最中の開雲堂の景観は弘前唯一である。



77

## 冬の夜の昇天教会



### 【応募者のコメント】

レトロ・モダンな街、弘前のだ真中にある教会。

吹雪の夜ライトアップされた教会が浮かびあがる。

雪の日と夜の光でよく映える。

78

春間近の思わぬ雪に見舞われた最勝院仁王門



【応募者のコメント】

突然の激しい雪を纏った仁王門が、殊の外美しく見えました。

79

夕焼けに染まる最勝院五重塔



**【応募者のコメント】**

四季折々に美しい姿を見せてくれる最勝院五重塔ですが、  
初秋の夕日に映える姿も美しいものでした。

**【応募者のコメント】**

お城、五重塔、お岩木山は弘前人の魂

私は富田生まれ。五重塔は幼少時代の遊び場。

81

弘前高校側から眺めた新寺町稻荷神社



**【応募者のコメント】**

鳥居がたくさんあり良い。

つがる市の「高山稲荷神社」のようである。



2014/09/26



### 【応募者のコメント】

私のお気に入りビューポイントは、弘前大学を囲んだ通りから1本裏手に入ったところにある「富士見町吉井氏所有叢林」越しに見える岩木山の夕焼けです。近所に住んでおり、静かなこの通りは以前から犬との散歩道として利用しています。中に入ることは出来ないのですが、大正時代に建てられた可愛らしい赤レンガ造りの変電所跡と、それを囲む立派な桜の樹の間隙から見える、青くそびえる岩木山に沈む夕日は、春の桜や秋の紅葉、太陽の沈む位置の違いなど、四季それぞれに美しく、弘前の歴史と文化を感じさせる風景だと思います。